

ニュージーランド便り NO.55

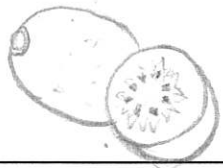
こんにちは！ニュージーランドに住み始めてもうすぐ5年が経過しようとしています。初めの頃は日本との違いに敏感でしたが、最近はこちらの生活に慣れ、今ではキウイフルーツを皮ごと食べるようになりました。

どこに住んでいても人との出会いが一番の醍醐味ですが、私の職場でも個性豊かな同僚たちがたくさんです。障がいのある方々のサポートをする仕事で、職員は性別も年齢層もバラバラ、ニュージーランド人がほとんどですが、私も含め他の国出身の同僚もいます。働いて気づいたのは、それぞれがとても積極的なこと、自分の意見をもち自分の持ち味を出すこと。

ミーティングなどでも積極的に意見が飛び交います。簡単に同調してしまいがちな私をよそに、たまに意見が食い違うこともあります。違う視点があるからこそそこからまた新しい発見が生まれることもあります。

色々な人と一緒に働いてみて、完璧な人などおらず、それぞれ得手不得手があって、それぞれが補いながらチームとして成り立っているのだと感じています。ふと金子みすゞさんの詩の一部「みんなちがって、みんないい。」を思い出し、自分以外の誰かがいて初めて自分が成り立っているのだと再認識しました。

ブース千尋 それではまた来月。See you!



昭和レトロコンサート

時代を彩ったの戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい

あの頃の頃「君の名は」の頃「昭和二十八〜三十年ヒット曲集

「街のサンドイツマン」「黒百合の歌」「別れの一本杉」

日時 十一月三日（ケアハウス王喜の郷・食堂） 十三時三〇分〜十五時

十一月二十四日（シニアハウス王喜の郷・食堂） 十三時三〇分〜十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください

【会費】 三〇〇円（お茶代・資料代）

【お問い合わせ】 山根（ミニント） 中村（ケアハウス）

～音楽と語りで綴るファンタジー～
GIFT FROM BOOKS

たんぽぽ通信

11月1日発行 177号
ケアハウス王喜の郷 令和3年11月号

ホームページ <http://www.ryokujukai.jp>

10月は数名の入居者の方をお迎えしたり、見送ったりして大変慌ただしい月でした。1年間に少ない年でも12, 3人、多い年は15人ほどでしょうか、入居者が入れ替わられます。職員は幾度も同じことを繰り返し、そのせいか入居されている皆様への説明不足が多く、気が付くとその説明不足をジッと我慢して下さっており胸を衝かれることが多くあります。

実際、介護の基本も「声かけ」から始まります。声をかけるときは、お一人お一人の立場に立ち理解して頂けるようにかけると教えられます。裏面のコラムで各事業所の職員が、声をかけてもらった、意志の疎通がはかれた、うまく気持ちがつかめなかったなど、人と人との交流がどんなに大変で大切なものか書いてあります。

私たち国民にとって大変身近で、あたり前のことであった家制度を中心にした仕組みが近年機能しなくなってきました。そこで「子供」「男性、女性」「家族」への法律等での見直しが進んできています。そこには根本に一人一人の人権の尊重があります。

このように生活のいろんな場面が急速に変わる時代を生きていく私たち職員には、お互いに「声かけ」や「話し合い（コミュニケーション）」で相手を尊重していくことが大変求められています。そのため今年度はコミュニケーション研修を毎月行っています。まだまだ勉強不足な点も多いのですが、どうぞ長い目で見て下さるようお願いいたします。

施設長 末谷 千秋

11月のお誕生日＆行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	③ 文化の日 昭和レトロコンサート (ケアハウス)	4	5	6
7 立冬	8	9	10	11 13:30~ ビューティーヘルパー 美容	12	13
14	15 七五三 13:30~ ビューティーヘルパー 理・美容	16	17	18	19	20
21	22 小雪	② 勤労感謝の日	24 昭和レトロ コンサート (シニアハウス)	25	26	27
28	29	30				

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 ***ビューティーヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ****イズミ行き：午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 *****レトロコンサート：午後1時半〜3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
 ****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

映画「青い山脈」と主題歌、大ヒットまでの誕生秘話～後篇

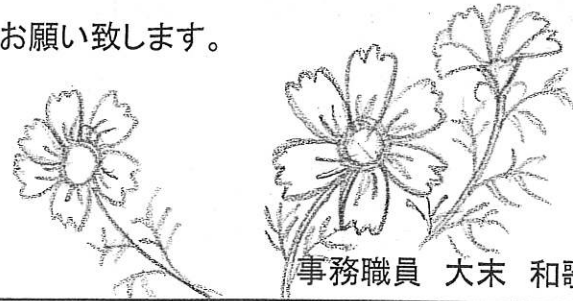
先月より引き続き、映画「青い山脈」と主題歌の誕生秘話について筆をとらせていただきます。戦後最大と言われた労働争議「東宝争議」により、映画「青い山脈」の封切は半年も遅れました。その間東宝の名プロデューサーだった藤本真澄は、封切に向け映画を大ヒットさせるために数々の作戦を決行しました。

まず、封切前に主題歌をヒットさせようと主題歌「青い山脈」のレコードを発売させました。そして宣伝として、夜の街を歌いながら歩く流しの人たちに主題歌「青い山脈」を覚えさせ、街中を流して歩かせました。次に藤本真澄が行ったのは人を雇って、NHKの人気ラジオ番組「のど自慢素人演芸」に出場させ、「青い山脈」を歌わせ、全国に放送するという作戦でした。ところが曲の～♪青い山脈～が出てくる前に鐘が1つ鳴り、この作戦の宣伝効果は薄く失敗に終わりました。しかし藤本真澄の苦勞のかいもあり、主題歌「青い山脈」は大ヒットしました。そして映画も後を追うように公開され大ヒットし、映画館は「青い山脈」を観ようとする人であふれ長蛇の列でした。ちなみに当時、私の祖母も「青い山脈」を観ようと広島市の映画館で並んだ一人でした。このようにして、「昭和の青春」の象徴、「青い山脈」の映画と主題歌は誕生したのです。

ミントの家 山根 徹

ケアハウス王喜の郷

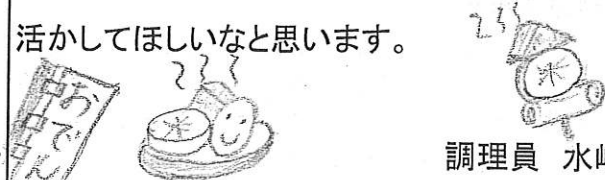
はじめまして。
8月末から勤めさせていただいています。大末(おおすえ)と申します。介護施設で働くのは初めてです。日々、職員の皆さんはもちろん入居者の方々から沢山いろいろなことを教わり、学び励んでいます。声をかけて下さる入居者の方もたくさんいらっしゃり嬉しく思います。言葉の温かみを改めて感じ、私自身も言葉の一言、一言を大切にしようと思いました。事務だけではなく、介護についても学びを深めたいと思い、来月からは資格取得にむけて研鑽していきたいです。宜しくお願い致します。



事務職員 大末 和歌子

ケアハウス王喜の郷(厨房)

私は厨房で一緒に働いているベトナムの職員との交流についてお話したいと思います。私自身、外国の人と一緒に仕事をするのは初めてで最初は言葉の壁がありコミュニケーションをとる事が難しいなと思う事もありましたが彼女達の日本語の上達ぶりにはとても驚いています。今では冗談を言い合ったり、笑いあえる間柄にもなりました。仕事もスムーズに進むようになり良き仕事仲間として毎日充実した日々を送っています。彼女達の勉強熱心な姿に私も影響を受け、来年には調理師試験にチャレンジしたいと思いました。ベトナムに帰った時には日本で学んで習得した事を活かしてほしいなと思います。



調理員 水嶋 麻里

王喜の郷デイサービスセンター

朝晩めっきり寒くなって来ましたが、デイサービスでは、午前リズム体操・午後は機能訓練でしっかり体を動かされ、運動の後は暑いと言われる程です。毎年楽しみにされていた、王喜小学校4年生との交流会は新型コロナウイルス感染症拡大の為、しばらく開催されていませんが、また子供たちとの交流ができ元気を頂けるようになるといいですね。8日~19日の2週間、高校生が1名、介護の仕事を学ぶ為にデイサービスに来てくれます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



介護職員 橋口 志都

グループホーム王喜の郷

11月になり、日増しに寒さが身にしみるようになって来ました。グループホームでは、天気の良い日には外気浴を行い、入居者の皆さんに少しでも日光にあたってもらっています。ただ、冷たい風が吹いている時には、「寒い！寒い！！」と口々に言われるので、様々な体操を行って体を動かし体を温めていただいています。皆さんの室内での服装やパジャマも厚手の物にし衣替えも行い、着々と冬に備えています。新型コロナウイルスに加え、インフルエンザが流行する季節が近づいて来ました。既にほとんどの方がインフルエンザ予防接種を終えられていますが、これから益々寒くなって来ますので、皆さんの体調管理をしっかりと行って行きたいと思っています。

介護職員 矢尾 一成

王喜の郷居宅介護支援センター

住み慣れた地域で最後まで安心して生活が送れるよう、ご本人とご家族に寄り添った支援に努めています。今回、本人と家族の御意向により、入院に切り替えず最後まで希望された場所で過ごされ、そこで看取りを行うケースを頂きました。各事業所の職員は、主治医とも情報の共有を図り、支援を行いました。ご本人、家族とも安心して任せて頂けたのではないかと思います。また職員が不安を抱える中で、周囲の方々が気にかけてながら、見守って下さったことを感謝します。自分の終末期を含めた思いを、ご家族や大切な人に伝えられると共に私達にもお聞かせて下さい。今後の皆様への支援に活かしていきたいと思っています。

介護支援専門員 田邊 美江

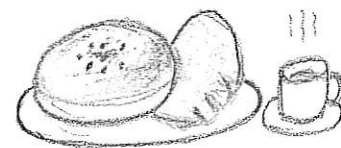
王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

先日、災害についての研修を受けました。ヘルパーは御自宅へ訪問し、身の回りの支援を行っていますが、災害の状況によってはいつもの支援ができないことがあります。一例として、ガスや水道が止まった場合は、調理の支援や入浴介助等ができないことがあります。そのような状況になった場合でも場に応じた支援が行えるように事前の対策の重要性を学びました。ヘルパーが対策を考えておくことはもちろんですが、利用者の方にも災害があった場合の支援についての内容を確認して頂くが必要になってくると思います。今後、災害時でも必要最低限の支援が行えるように利用者の方と対応や方法等をしっかり話し合っていきたいと思っています。

サービス提供責任者 下森 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

先日、ミントの家ではおやつ作りをしました。卵を割る方、材料を投入する方、生地を混ぜる方と皆さん全員に手伝って頂き、中華蒸しパン マーラーカオが出来上がりました。生地の中に、醤油を入れた際には、皆さんビックリされていましたが出来上がったマーラーカオを食されて「これは美味しい」との声もあり、又とてもいい笑顔も見られて私達職員もほっこりした気持ちになりました。次の日にも、「昨日は良かった。美味しかったよ。また作りたい。」と言って頂き、大変嬉しく思いました。今回の蒸しパン マーラーカオを食して利用者より俳句を一句



介護職員 磯部 好美

放課後等デイサービス さくら

初めまして。9月1日からさくらで勤務させて頂いている八木と申します。放課後等デイサービスで働く事も子どもと関わる仕事も初めてですが、毎日子どもの色々な一面が見られ、一緒に過ごす時間がとても楽しく、1日があっという間に終わってしまいます。子どもに対してうまく言葉を伝えられなかったり、子どもの気持ちを汲み取ることができなかったりと簡単なことばかりではなく大変だなと悩むこともたくさんありますが、その都度、他の職員に相談してアドバイスをもらったり職場に恵まれているなど実感しました。まだまだ未熟で分からない事ばかりですが、一生懸命頑張りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



さくら支援員 八木 真優